



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力（考え）で地域を育てる」地域まちづくりをすすめています。市内各地域のまちづくり活動団体によって取り組まれている地域まちづくりの活動を地まぢのチカラで情報発信します。

《まちの使い方と楽しみ方を語る！》

「まちを使い倒せ！ - Poc upスクールNAGOYA
関係者たちが語る！ まちの使い方と楽しみ方 -」

1/26（日）名古屋都市センター11階喫茶コーナーを貸し切って、イベント「まちを使い倒せ！」を開催しました。当日は、名古屋시가主催する「Poc upスクールNAGOYA」の関係者が登壇。今年度大曽根商店街を舞台に行ったPoc upスクールの振り返りはもちろんのこと、これからまちづくりをしていきたい人に向けての話、実際にまちづくりに取り組む皆さんのお悩みの共有など様々な話を聞くことができる、とても貴重な時間でした。

スピーカー

藤田 恭兵氏／（株）On-Co

蟹江 哲太郎氏／大曽根まちそでて会議

名古屋市住宅都市局ウォーカブル・景観推進課

公益財団法人名古屋まちづくり公社名古屋都市センター

コーディネーター

吉村 輝彦氏／日本福祉大学国際学部国際学科教授

Poc upスクールNAGOYA関連企画 地まちNEWS

普段喫茶コーナーとして区画されているエリアと展示スペースを一体的な空間構成に変更し実施しました。



まちづくりスキルアップ講座 地まちNEWS

《まちづくり活動のためのチラシデザイン講座開催！》

1/26（日）「小さなNPOを応援するグラフィックデザイナー」林田 全弘（はやしだ まさひろ）さんを講師にお迎えし「まちづくり活動のためのチラシデザイン講座」（全2回）の1回目を開催しました。

まちづくりに取り組む方々から何う広報の悩み。地域の方に情報を届けるためにはチラシがまだまだ有効です。そこで本講座では、活動の魅力や想いを正しく「伝える」ためのチラシ作りについて、デザインツール「Canva（キャンバ）」を使って実践的に学習しました。

チラシのテンプレートを使って基本の操作を学び、作ったチラシを見せ合います。他の人の制作過程を見られる機会はなかなか貴重。いろんなパターンを見ることが、自分のチラシに生かせる引き出しが増えていきます。

午後からは「伝わるチラシとは何か」を学びました。ワークシートに沿って落とし込む内容を整理し「相手が得られるものをわかりやすく伝える」ことを意識してチラシのタイトルを考えます。最後は出来上がったタイトルを共有。「もっとこうしてもいいかも」などお互いに意見交換ができました。次回は作ったチラシに講師からフィードバックをいただきます！



地まちチャレンジまちづくりを行う“人”にフィーチャーしたインタビュー

56人目 牧野 政子さんのご紹介

有限会社フィレンツェ 代表取締役

小島 祐助さん



Q まちづくりに取り組んできた中でうれしかったこと

A それぞれの活動に協力を依頼した際に、理解を示し、信頼して協力していただいたときが一番ありがたく、今でも感謝しています。

Q これから取り組みたいと考えていること

A 「まちづくりサポートクラブ」の会員を増やしていきたい。

Q 最後にひとこと

A これまで参加した団体が今後も継続発展していきますことを願っています。

あおなみ線「荒子駅」すぐ横の「洋菓子フィレンツェ」をはじめ、愛知県内に8店舗を構える有限会社フィレンツェの代表取締役・小島さんは、中川区のあらゆるまちづくりに関わってきました。

始まりは「にっぽんど真ん中祭り」の中川・荒子公園会場の運営に携わったこと。その後、中川区制70周年記念事業から誕生した「名古屋なかがわ第九合唱団」によるコンサートを実施したり、地元の野崎白菜をPRするイベントや、荒子の里協議会にて『前田利家公生誕地』『円空仏所蔵数日本一』を掲げて「円空市」などの活動に参加したりしてきました。

今後力を入れていきたいのは「中川まちづくりサポートクラブ（NSC）」の活動。文化芸術、イベントやスポーツなどに取り組む団体・個人を応援するクラブで、助成金などの支援を行っています。小島さんの今後の目標は、クラブを軸に中川区でまちづくりをしてくれる人を増やすことと、荒子エリアで留まっている界隈の活動にシナジー効果を生み出していくこと。「なにかやろうとすればここに相談できる」という場になるといいなという思いで活動しています。常に試行錯誤を重ねながら活動を広げていく小島さん。「フィレンツェ」に入った瞬間のようなわくわく感を、まちづくりでもさらに広げています。

